

○神戸市 昭和 13 年阪神大水害

https://www.city.kobe.lg.jp/a44881/bosai/disaster/flood01/flood03/01_s13daisuigai/index.html



阪神大水害・泥に埋もれた神戸の住宅
(神戸市東灘区本山)



阪神大水害・東海道本線の線路も埋没
(神戸市 摂津本山、住吉間)



阪神大水害・石に押し潰された住吉の別荘村(神戸市東灘区住吉)



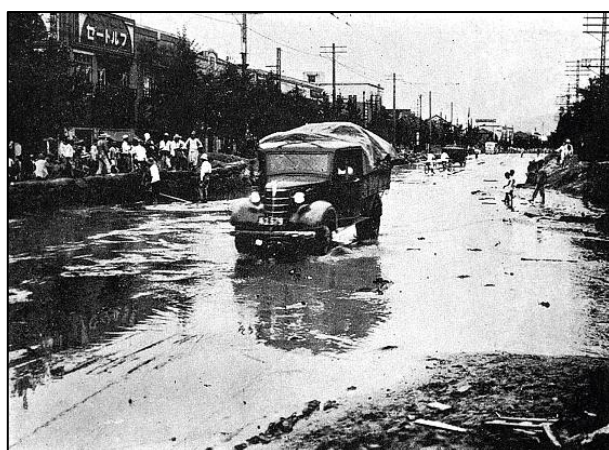
危険な状態の野村邸北部川岸(住吉村)



住吉川橋 (住吉村 土手より)



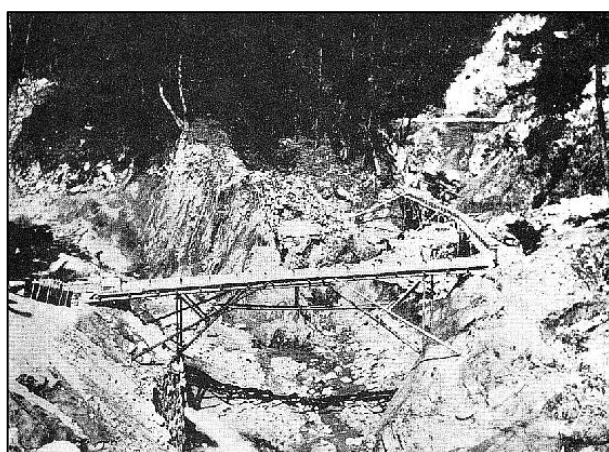
住吉川橋（住吉村 土手より・
漸く本流へ復した流れと仮橋）



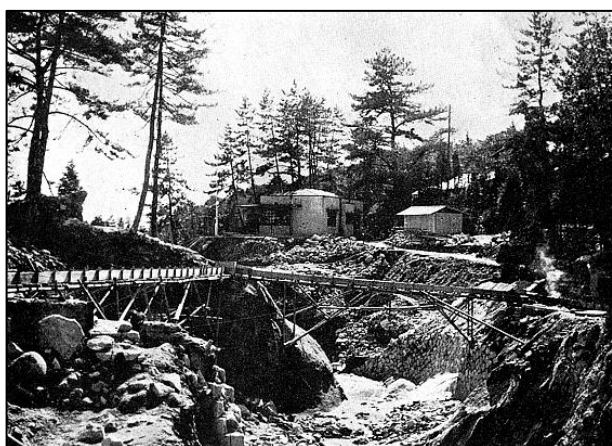
水が引いた阪神国道(住吉村)



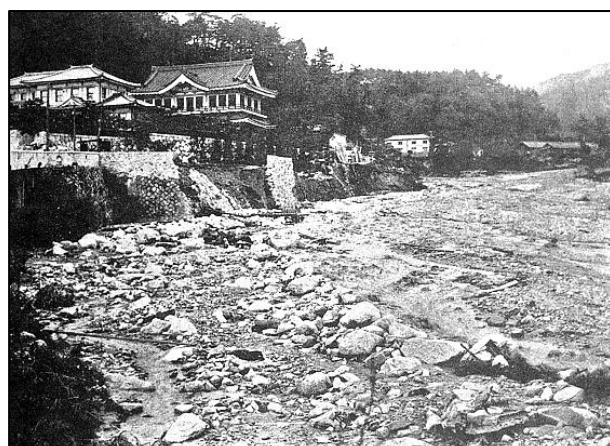
水道仮設送水線（住吉村 浄水場ポンプ室前）



全壊流失した上水道制水堰
（その1：住吉村 地獄谷・大月谷合流点）



全壊流失した上水道制水堰（その2 住吉村）



白鶴美術館下の被害（住吉村 溪谷は河原と化し
数軒の人家は跡形もなし）



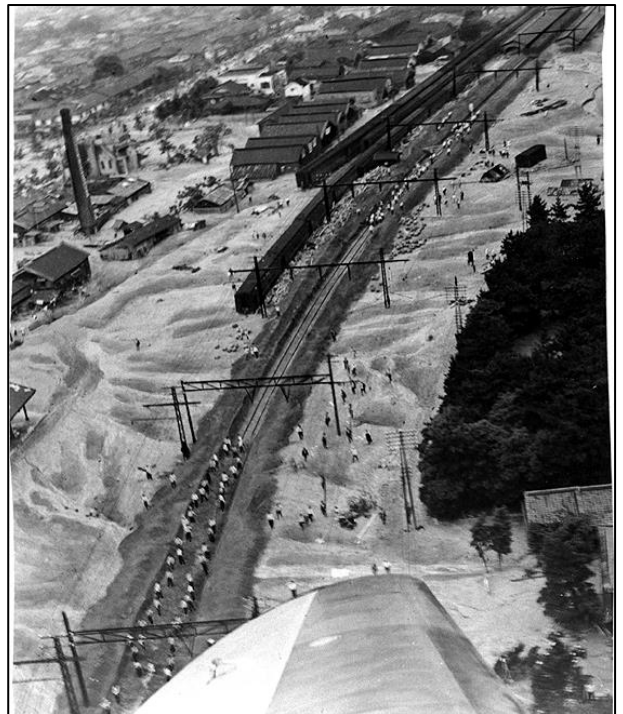
立往生の阪神国道電車(住吉村)



阪神大水害・阪急沿線御影、
岡本間の落石(神戸市東灘区御影付近)



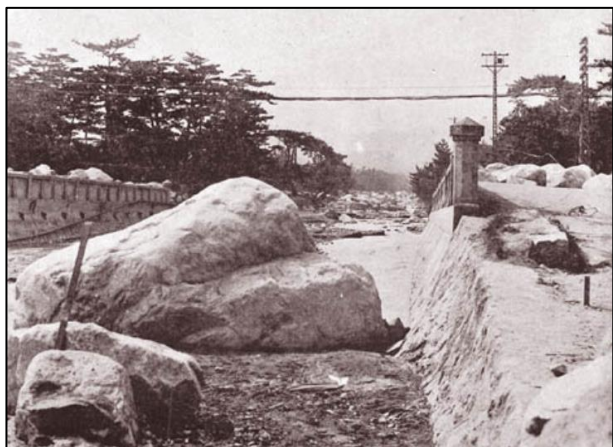
阪神大水害・軒下まできた砂をかき出す住民
(神戸市東灘区)



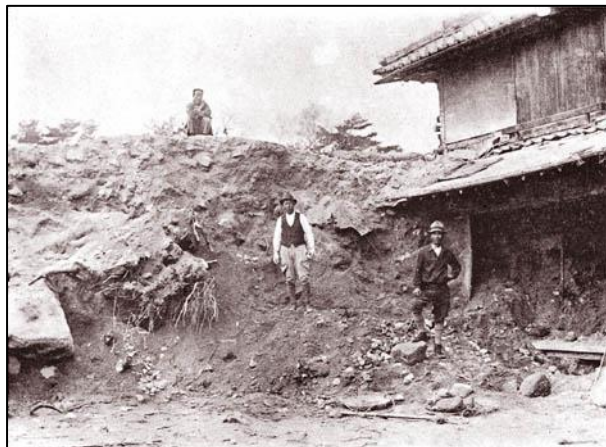
阪神大水害・土砂で埋まった国鉄
住吉駅一帯(神戸市東灘区)

○本山西ふれあいのまちづくり協議会

<https://www.motoyama-nishi.jp/sub2-sonaearebaureinashi.html>



住吉川 野寄橋（JR高架 天井川部分）
現在も残る野寄橋の欄干



現在の西岡本4丁目付近



住吉川 現阪急電鉄鉄橋から水道橋の間付近



仮設鉄橋で通過する阪急電車



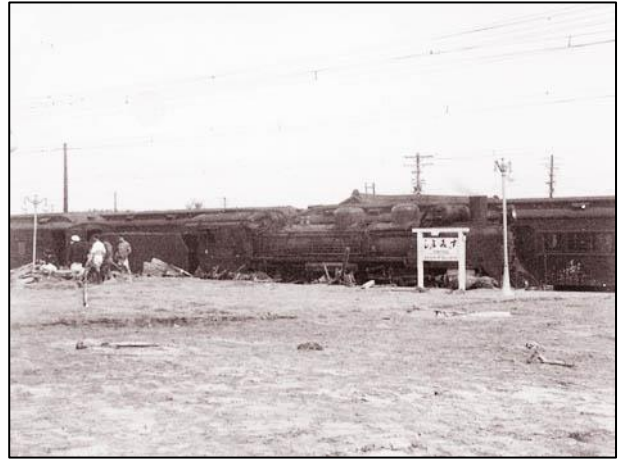
本山第二小学校～現本山中学校グラウンド付近



本山第二小学校西側 丸穴の塀が埋もれている



本山第二小学校南側 国鉄省線電車線路の流失



省線電車 現JR住吉駅ホームが埋もれている



大日女尊神社境内 北側「天壤無窮」の鳥居

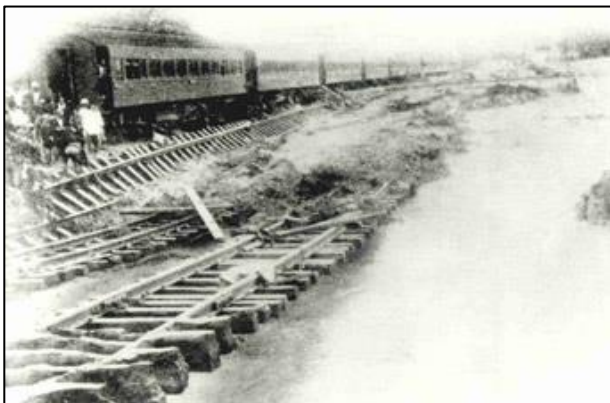


大日女尊神社境内 「水神宮」の石碑

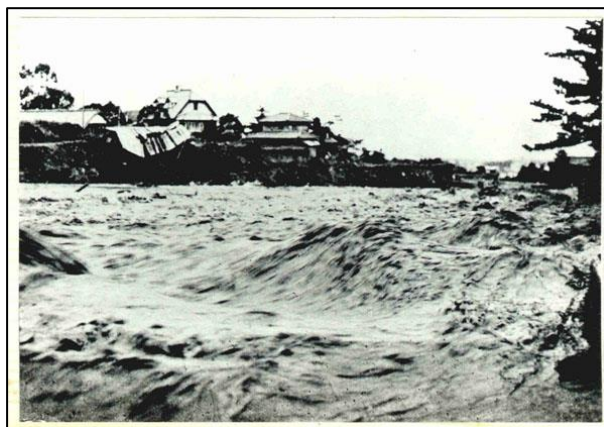
○六甲 SABO

<https://www-1.kkr.mlit.go.jp/rokko/disaster/history/s13/photo.php>

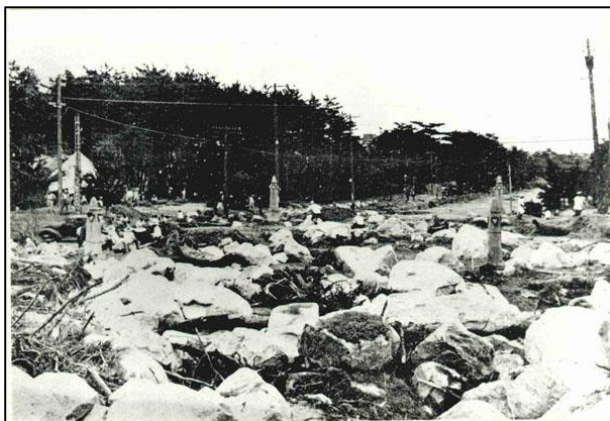
<https://www-1.kkr.mlit.go.jp/rokko/disaster/history/s13/sumiyoshi.php>



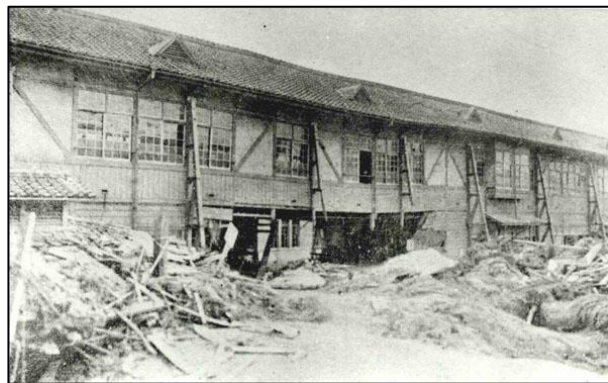
(東灘区) JR 住吉～摂津本山間の軌道破損



野村邸付近 (神戸市東灘区)



住吉橋 (神戸市東灘区)



住吉小学校校庭 (神戸市東灘区)



現 JR 住吉駅に立ち往生し、土砂に埋まった列車

○朝日新聞 DIGITAL 阪神大水害に関するトピックス

<https://www.asahi.com/topics/word/%E9%98%AA%E7%A5%9E%E5%A4%A7%E6%B0%B4%E5%AE%B3.html>



住吉川が氾濫、阪神国道（国道2号線）を流れる濁流。国道沿いの商店も1階が破壊された



再度の豪雨で住吉川が氾濫、濁流は阪神国道に流れ込んだ。立ち往生した自動車を冠水地帯から引っ張り出す住民たち



氾濫した住吉川から流れ出した土砂で埋まった阪神国道（国道2号）で、阪神国道自動車（阪国バス）の路線バス、シボレー1937年型コンマーマーシャルが「故障車」の表示を出したまま置き去りにされている。



国鉄東海道線摂津本山駅西方の線路は、住吉川などの氾濫で流されてきた家のがれきで埋まった。架線柱も激しい水流で傾いている



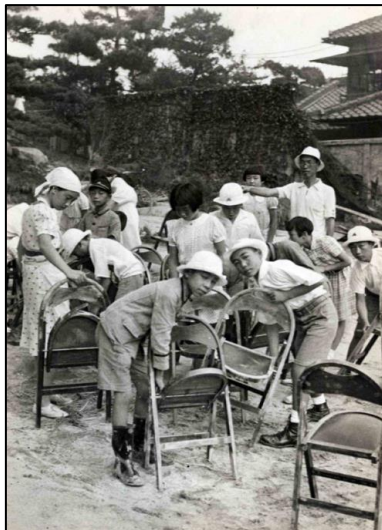
住吉川の氾濫で国鉄東海道線の住吉駅に流れ込んだ土砂のため立ち往生した貨物列車。列車を引く姫路機関区のC51型蒸気機関車C5189号機の足回りの土砂を取り除く



水害の救援と見舞いの人々で混雑する阪神国道（国道2号）の住吉川橋付近。住吉川が氾濫、六甲山から押し流されてきた巨岩で国道は埋め尽くされている



避難する人たちで混雑する本山村田中の阪神国道。氾濫した住吉川、天上川の濁流が流れた道路には土砂が積もる



学校で災害復旧の奉仕活動をする私立甲南小学校の六年生たち。休校中だが、都合のついた生徒約20人が登校、汚れた椅子や机を校庭に運んで清掃した



1938年の集中豪雨から1年がすぎても、河床に流されてきた巨岩が転がる住吉川。近くの住友本部（住友本家第15代当主住友吉右衛門友純の邸宅だった）の石垣に転用したが、まだまだ減らない。住友邸跡は現在マンションになっているが、この石垣は残されている



集中豪雨による住吉川の氾濫で六甲山から阪神国道（国道2号）まで流されてきた巨岩